

支援室だより

<http://www.okasien.okayama-c.ed.jp/okayyo.htm>

○各地域の自立支援協議会と地域連携を推進します。

本校は、岡山県下14地域の自立支援協議会と連携を図り、情報を「支援室だより」で教職員や児童生徒及び保護者の皆様に発信してきました。今後も引き続き、各地域の自立支援協議会と連携し、就学前から卒業後までの生活について、継続した支援ができるように取り組んでいきます。

【高梁市自立支援協議会・児童部会より】

高梁市自立支援協議会・児童部会は、月1回のペースで会合を持ち、何らかの支援を必要とする方たち（当事者、家族等）の生活や福祉、教育等の支援について協議しています。本校からも担当者が隔月で参加し、情報交換等を行っています。

今年度は、特に保護者、保健師、所属園・校、福祉事業所等がスクラムを組んで連携支援する「スクラム作戦」の展開を強化してきました。市内の園・校、関係する特別支援学校を訪問し、スクラム作戦の説明と必要性を説いて回りました。今年度は豪雨災害もあり、「障害者の避難」について課題が浮き彫りになり、連携・共助の必要性を皆が感じているところです。

来年度は、連携・共助や子育ての課題について協議していく予定です。特に「子育て支援リーフレット」を成長の記録「ステップ」や医療機関との連携について関連させながら見直しをしていく計画です。本校の保護者のご意見も反映できたらと考えています。

【岡山市障害者自立支援協議会・教育部会より】

平成30年度は、教育部会を中心に岡山市在住の児童生徒が通学する支援学校、岡山市、福祉事業者などが連携し、①福祉制度説明会、②地区別懇談会、③卒業時移行支援会議、④生活介護事業所説明会などを運営・調整してきました。また、在学中から卒業後の支援について関係機関がつながっていけるように、様々な課題を挙げ、グループに分かれて具体的な解決法を話し合ってきました。平成31年度も同様の行事の運営・調整をするとともに、課題の解決に向けて情報共有や検討を重ね、教育部会の機能を高めていく計画です。また、来年度の日程（予定）を下記のとおりお知らせします。

会の名称	対象地区	日時	会場	対象	内容
①福祉制度説明会	北区南区	8月7日(水)10:00-11:30	岡山南支援	高1保護者	福祉制度の説明、手続き等の流れ、最近の動向
	中区東区	8月8日(木)10:00-11:30	岡山支援		
②地区別懇談会	南区	7月23日(火)10:00-12:00	岡山南支援	高2生徒、 高2保護者 施設職員	福祉制度の説明、相談支援専門員及び事業所の紹介、個別相談(希望者)
	中区東区	7月24日(水)14:00-16:00	岡山東支援		
	北区	7月30日(火)10:00-12:00	岡山西支援		
③卒業時移行支援会議	北区中央	平成32年 1月27日(月) ～1月31日(金)	健康福祉会館	高3生徒、 高3保護者 施設職員 担任 移行支援会 議担当者	卒業時の移行支援計画及び 手続きの確認
	北区北		北ふれあいセンター		
	北区御津建部		別途設定		
	南区南		南ふれあいセンター		
	南区西		西ふれあいセンター		
	中区 東区		中区福祉事業所 西大寺ふれあいセンター		
④生活介護事業所説明会	肢体全体	9月頃開催	岡山支援	中・高保護者	生活介護事業所の紹介

【スクールカウンセラーより】

3月1日にスクールカウンセラーの先生が来校されました。今年度の最終になることから、まとめを兼ねて様々なことについてお話を伺いましたのでご紹介します。

先生は、県内の学校4校でスクールカウンセラーとして勤務されています。学校によって利用頻度に違いはあるそうです。本校は、少ない方になるようです。活用例を上げていただくと、①学校生活のこと ②子どもの将来のこと ③子どもに向き合う保護者の今の悩み ④過去に苦しかったこと ⑤配偶者や子どもの祖父母との関係 などが多い事例だそうです。今までの経験から、「子どもにとって親の気持ちが安定していることが1番で、よい影響を与えることができる条件となる、そのために小さなことから、これは関係ないと思わず、気軽に利用していただき、よりよい親子関係を築いてほしい。」とっておられました。

年度始めにも紹介しましたが、先生は病院勤務も経験しておられ、臨床心理士、公認心理師、リハビリ療法士、介護支援専門員の資格も取得されており、様々な専門知識により多種多様な相談に対応していただけます。来年度も7回のスクールカウンセラーの来校を予定しています。相談は児童生徒本人、保護者の利用も可能ですので、ぜひご活用ください。



【世界自閉症啓発デー】

国連総会（H19.12.18開催）において、カタル王国王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」（World Autism Awareness Day）とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。

わが国でも、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、自閉症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動を行っています。

具体的には、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間として、シンポジウムの開催やランドマークのブルーライトアップ等の活動を行っています。

自閉症をはじめとする発達障害について知っていただくこと、理解をしていただくことは、発達障害のある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現につながるものと考えております。（「世界自閉症啓発デー日本実行委員会」公式サイトより引用）



政府の障害者施策や発達障害についてのサイトです。

★内閣府

<http://www8.cao.go.jp/shougai/index.html>

★厚生労働省

発達障害情報・支援センター

<http://www.rehab.go.jp/ddis/>

★文部科学省

発達障害教育推進センター

<http://icedd.nise.go.jp/>